

見どころ…1 神輿連合渡御

八重垣神社祇園祭の一番の醍醐味が神輿連合渡御。8月5日の朝から、20基ほどの神輿とお囃子たちが次々に市街へ出て、人並みをうねらせながら練り歩く。

見どころ…3 水掛け

神輿に向かって沿道から水が浴びせられるのも、祇園祭の特徴。大型トラックから大量の水が豪快に掛けられると、担ぎ手は大盛り上がり。



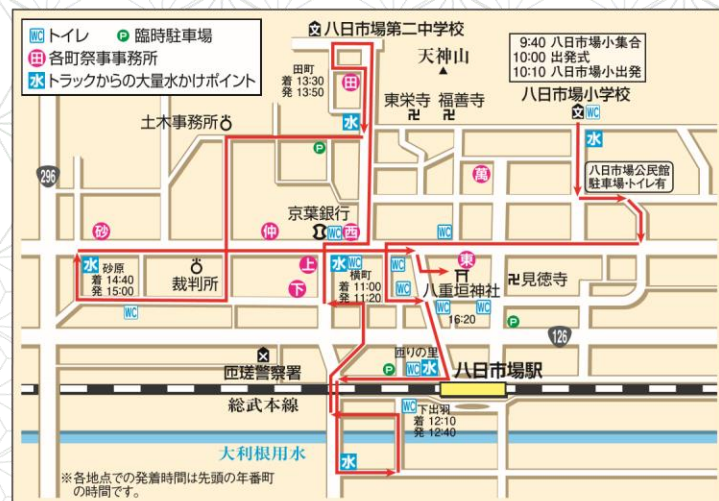
♂男性たちにも劣らない活気あふれる

担ぎ手たちの迫力ある渡御



見どころ…2 女神輿

祇園祭は全国でも珍しく女人禁制の旧例が緩和されており、女性が担ぐ女神輿がある。町内から10基出され、女性たちの粋な姿に歓声が上がる。



八重垣神社祇園祭神輿連合渡御コース

フォトコンテストもあります



JR東日本千葉支社の協賛で毎年、八重垣神社祇園祭を撮影したフォトコンテストが開催される。迫力ある神輿や祭りの風景など思い出したい一枚を応募してみよう。
令和元年度入選作品(上)
令和元年度最優秀作品(下)

祇園祭の歴史

祇園祭の起源は享禄3(1530)年の大祭だが、現在の祇園祭に近くなったのは元禄10(1697)年頃とされている。やがて門前に神輿が入り、町内渡御へと続いていった。



日程

8月4日

神社神輿宮出 7:30~9:30
神輿町内渡御 11:00~16:00
山車巡行 9:30~15:50
女神輿連合渡御 18:00~22:00

8月5日

神輿連合渡御 10:10~17:50
神社神輿還御 19:30~22:00

※詳細は年度によって異なる

八重垣神社 祇園祭

「あんりゃどした!」力強いかけ声に神輿が跳ね、冷水が飛び散る。八重垣神社の祇園祭は匠達の夏の風物詩。

MAP P.13

千葉県を代表する祭りのひとつ、八重垣神社祇園祭は300年以上の歴史をもつ伝統的な神事だ。勇壮な20基ほどの神輿が街中を練り歩き、活気に満ちあふれる風景には心が浮き立つ。毎年全国各地から5万人以上の見物客が訪れる。御祭神が縁結びの神様「素盞鳴尊(スサノオノミコト)」なので、御利益も期待できそう。

20基ほどの神輿が練り出される市内最大の祭り